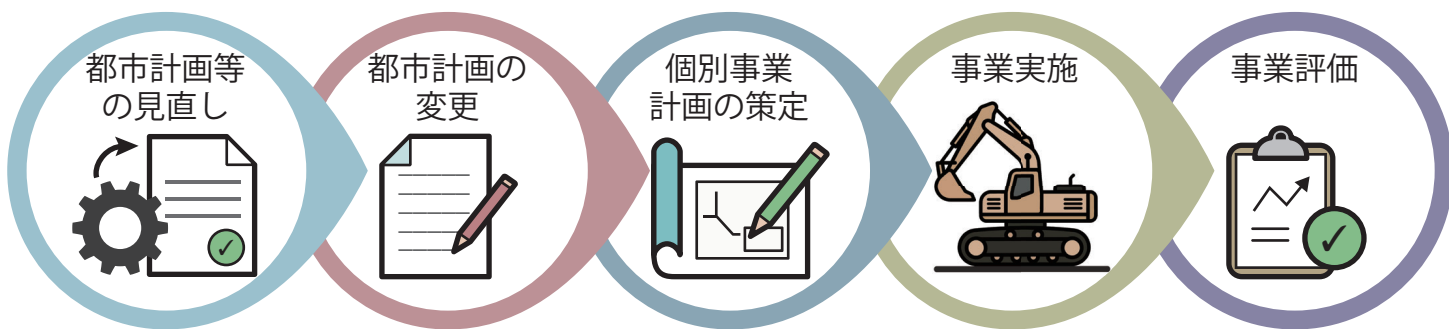
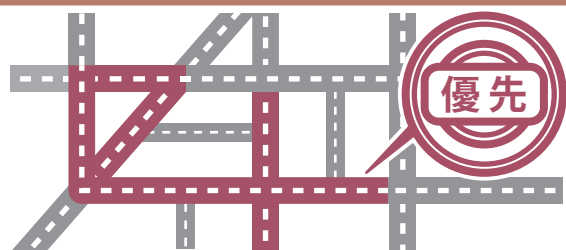


計画実現までの5つのステップ



重点施策

1. 長期未整備都市計画道路の見直しと計画的整備の推進



整備が長期間行われていない道路について、必要性や実現性を再検討し、優先度の高い道路から整備を進めます。

2. 交流・防災を支える大芝高原の機能強化



「大芝高原将来ビジョン」に基づき、施設の再整備や防災機能の強化を進め、誰もが安心して楽しめる交流・防災を支える拠点を目指します。

3. 多様な主体の協働による秩序あるむらづくりの推進



村民、区、企業、行政などがむらづくりの理念や目標を共有し、それぞれの役割分担に基づいたむらづくりを推進します。

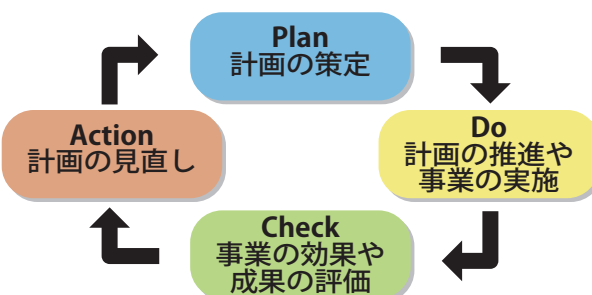
4. 都市計画マスタープランに即した関連計画の策定・見直し推進



既存のインフラ基盤を有効活用することで、コンパクトなむらづくりを推進し、新たな関連計画の策定や既存の関連計画の見直しを進めます。

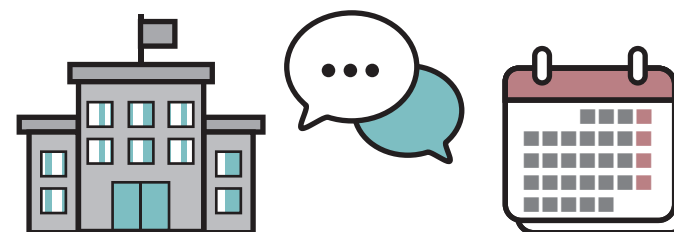
計画の進行管理と見直し

今後は「PDCA サイクル (Plan-Do-Check-Action)」に基づいて、事業や施策の進捗状況や関係機関・地域住民の意見などを反映しながら、柔軟に見直しを行い、適切に計画の進行管理を行います。



南箕輪村都市計画マスタープランについて

都市計画マスタープランとは？



おおむね 20 年後の都市の姿を展望しつつ、将来のむらのあるべき姿やむらづくりの基本的な方向性を示す計画です。

計画改定の背景と目的

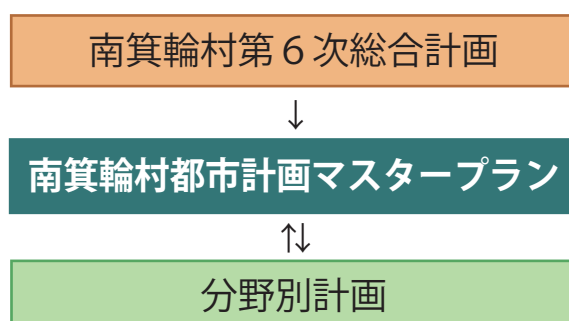
本村では、平成19年（2007年）3月に「南箕輪村都市計画マスタープラン」（旧計画）を策定しましたが、令和7年度（2025年度）で旧計画の策定からおおむね20年が経過し、将来の人口動向や自然災害への対応、総合計画等との整合などを踏まえて、この度新たな都市計画マスタープランを策定しました。

計画の対象

対象区域
飛び地を除く南箕輪村全域（都市計画区域）

対象期間
令和8年度（2026年度）から令和27年度（2045年度）までの20年間

計画の位置付け



村の最上位計画である「南箕輪村第6次総合計画」等に即し、分野別計画と整合・調整を図りながら定めています。

総合計画との役割分担

総合計画	都市計画マスタープラン
<p>南箕輪村全域を対象とした村の最上位計画であり、行政全般の施策の方向性を示します。</p>	<p>総合計画の将来像を踏まえて、土地利用、道路・交通といった都市づくりの具体的な方向性を示します。</p>

計画の6つの構成

1. 南箕輪村都市計画マスタープランについて
2. 南箕輪村の特性と課題
3. 全体構成
4. 分野別の整備方針
5. 地域別構想
6. 実現化方策

南箕輪村の現状・特性と課題



- 広大な扇状地に、緑濃い田園と畑作地帯が広がる
- 中央アルプス、南アルプスを望み伊那谷有数の美しい景観

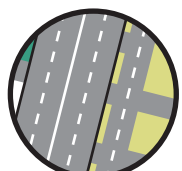
令和 17(2035)年ピーク



- 人口は増加傾向
- しかし2035年にピークを迎え減少・高齢化へ



- 用途地域外での宅地化が進行し優良農地が減少



- 東西方向の幹線道路がやや脆弱で、機能強化が求められている



- 南海トラフ地震や伊那谷活断層による大規模災害のリスク

住民アンケートでは…



- 自然環境への満足度は高い



- 買い物への行きやすさや公共交通の移動の満足度は低い

全体構想

将来像

「豊かな自然 つながり育み夢かなう 南箕輪」
～自然とともに 世代を超えて育む 持続可能なむらづくり～

将来人口

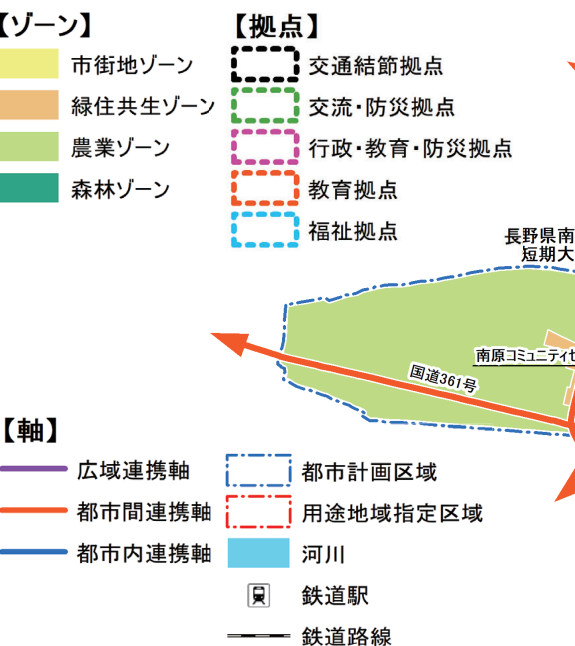
令和 27 年度 (2045 年度) の
将来人口：16,200 人

基本方針と将来都市構造

都市計画の4つの基本方針

1. 伊那谷の雄大な自然環境と共生するむらづくり
2. 快適に暮らせるコンパクトなむらづくり
3. 災害に強い安全・安心なむらづくり
4. 産業を支える活力あるむらづくり

将来都市構造：「ゾーン」「拠点」「軸」によるむらづくり



分野別の整備方針

土地利用



- 豊かな自然環境と優良農地の保全・活用
- 無秩序な市街地の拡大抑制と計画的な土地利用誘導
- 空き家・低未利用地の適切な管理・活用と良好な住環境の形成
- 産業・商業機能の活性化と雇用の創出
- 再生可能エネルギーの導入促進

道路・交通施設整備



- 円滑な交通流動を促す道路ネットワークの構築
- 長期未整備都市計画道路の見直しと計画的整備の推進
- 全ての利用者にとって安全で快適な道路空間の創出
- 公共交通の利便性向上と利用促進

自然環境保全と公園・緑地整備



- 雄大な自然環境の保全・活用
- 身近で利用しやすい公園・緑地の適正配置と機能維持・強化
- 交流・防災を支える大芝高原の機能強化

景観形成



- 豊かな自然が織りなす雄大な景観の保全と継承
- 住民の生活に調和した街並み・沿道景観の形成
- 住民との協働による景観づくりの推進

都市防災



- 土砂災害・洪水災害に対する防災・減災対策の推進
- 大規模地震に対する防災・減災対策の推進
- 防災拠点等の機能維持・強化と避難体制の充実
- 緊急輸送道路の整備及び機能強化

上下水道



- 上下水道施設の適切な維持管理と機能維持
- 公共下水道未整備区域における生活排水処理の推進

地域別構想

東部地域

久保区・塩ノ井区・中込区・北殿区・南殿区・田畑区・神子柴区(南箕輪小学校区)

将来像：自然と歴史に育まれる、多機能でにぎわいある東部地域

天竜川の豊かな自然や伊那街道の歴史的景観といった地域資源を大切にしながら、行政・教育・商業・産業などの多様な機能が集積する村の中核としての役割を強化し、利便性と交流のにぎわいが調和する魅力的な地域づくりを目指します。



南部地域

南原区・沢尻区・神子柴区(南部小学校区)

将来像：農と学びに育まれ、暮らしと交流が広がる南部地域

信州大学農学部や上伊那農業高等学校などの教育・研究機関と、農地や里山が織りなす豊かな農村環境が共存する地域特性を活かし、農業・教育・暮らしが調和する中で、人と人とのつながりや地域内外の交流が自然に生まれ、広がる地域づくりを目指します。



西部地域

北原区・大泉区・大芝区

将来像：自然と人がつながる、緑にひらかれた西部地域

森林や水辺に囲まれた豊かな自然環境を活かしながら、大芝高原を中心に観光、福祉、防災、産業など多様な機能が調和する空間を形成し、ゆとりある住環境と人々の交流、憩いが自然とつながる、ひらかれた地域づくりを目指します。

